



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00
(但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌々週火曜日 午後6：00

2018年12月号ブリテン 第341号

2018-2019年度主題(Theme)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

会長 大谷博愛
副会長 小山憲彦
書記 御園生好子
会計 小山久恵
直前会長 江原修一
担当主事 大津桃子

Our Motto 国際標語
国際会長 Moon Sang-bong
アジア会長 田中博之
東日本区理事 宮内友弥
あずさ部部长 廣瀬健
サンライズ会長 大谷博愛

To acknowledge the duty that accompanies every right
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
「私たちは変えられる」 (韓国)
「Action！」 (東日本区)
「為せは、成る」 (東京武蔵野多摩)
「未来はそれに備える人のためのものである」(甲府21)
「新しい仲間を増やして新たな出発を」

12月第一例会のお知らせ

とき 12月1日(土曜日) 17：00～
ところ 東京YMCA山中湖センター

◆プログラム

13：30～ 地域の子供たちのためのクリスマス

17：00～ 富士五湖クラブとの合同例会

開会点鐘 大谷会長
ワイズソング・ワイズの信条 一同
試写会「灯籠流し」 一同

区大会で上映される映画の試写会を行います
協議・報告・連絡事項 会長・各担当
にこにこ・一分間スピーチ 出席者全員
閉会点鐘 後藤(明)会長

18：30～ 合同クリスマス祝会・懇親会

本音で語ろう会 例会の続きを“本気”で“本音”で

12月以降の予告

12月11日(火) 第二例会/忘年会 プラスリー東洋 17：00～
30周年記念会の会場です。下見・味見を兼ねてご参加ください。
12月15日(土) 松本30周年 松本・梅風閣 13：00～
1月 5日(土) 在京ワイズ新年会 八王子京王プラザ 12：30～
1月22日(火) 第二例会 会場未定 18：00～
2月14日(木) 第一例会 東京YMCA 19：00～

11月第一例会報告

菅原美紀子

2018年11月8日(木)19：00～21：00
東京YMCA本部会議室

大谷会長の開会点鐘により開会されました。

当日のスピーカーは、所沢クラブの東裕二さんで、建築士事務所をされている傍らで、現在所沢で子供食堂の開催に携わっているお話を、子供の居場所として学童クラブの開催に始まり、経緯、現在は子供食堂の開催、駄菓子屋さんの開催等、団地の一角で地域の中で活動されている旨を伺いました。都内でよくある子供の貧困に対応した子供食堂の活動とは少し違った取り組みをされていました。時間が出来ましたら伺ってみたいと思いました。

【次頁へ続く】



【卓話者の所沢クラブ東さん】

12月のハッピーパステール

5日 大津桃子 さん
6日 御園生好子 さん
19日 内迫裕 さん

ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう
青少年のためにYMCAに尽くそう
世界的視野を持って国際親善を計ろう
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよ

11月例会出席者

在籍 (内広義会員 3名) 15名
メン (Make up 1名) 9名
メネット・コメット 1名
ゲスト・ビジター 3名
出席率 75%

●11月のBF切手：0.0kg(累計：0.0kg) ●ニコニコ：3,600円(累計：20,021円) ●プルタブ：0.0kg(累計：0.0kg)

また駄菓子屋さんで販売されている駄菓子を沢山お持ち頂き、1個100円で買わせていただき、懐かしい駄菓子の話題に話が盛り上がりました。



【チョットこじんまりとした例会になりました】

実行委員長の東京多摩みなみクラブの伊藤さんによる在京新年会のアピールがありました。また併せて11月18日(日)に開催される新クラブ(仮)東京町田スマイリングクラブの設立総会への出席のお誘いがありました。

恒例のテイティングタイムに、山中クリスマス等の件等、その他報告がされました。

出席者：大谷会長、江原、小山(憲)、菰淵、柴田、菅原、長津、御園生、星住主任主事、伊藤さん(東京多摩みなみ)、東さん(所沢)

11月第二例会

御園生好子

日本YMCA同盟会議室に於いて

出席者 大谷会長、江原、小山(憲)、菰淵、柴田、菅原、長津、長津メネット、御園生

協議事項

- ・山中湖センター子供クリスマス会
出席者確認
プレゼントは例年通り山中湖センターが準備
子どもクリスマス会後の富士五湖クラブとの合同例会時に、第22回東日本区大会の記念講演で放映する「灯籠流し」の試写会をする。
- ・松本クラブ30周年参加者確認
- ・在京新年会出席者確認
- ・サンライズクラブ忘年会は12月11日(火)
プラスリー東洋 17:00～19:00 会費5,000円
出席者確認
(サンライズ30周年記念会の会場ですので、下見・試食を兼ねてぜひご参加ください。)
- ・サンライズクラブ30周年記念例会
IBCの台北ユニオン、DBCの東広島、京都プリンスへは大谷会長よりメールで招待状を送る。
メインイベントとして榎本はるみさんに御園生からコンタクトし、プログラムを作成する。
二次会(IBC・DBC交流会)担当者は江原さん。
30周年記念誌は作らない。
冊子、記念品は次回までに委員長に一任する。
- ・ブリテン原稿割り振り

奈良信さんありがとう

大谷博愛

奈良信さんがお亡くなりになったのを知った時私が一番感じたのは、こちらからもっと接触してお話をたっぷり伺っておけば良かったというとても残念な気持ちです。奈良さんはとても広い人脈をお持ちの方だったので多くの方がそれぞれの形で親しい関係をお持ちだったと思います。

手前勝手ですが、私にとって奈良信さんは父親のような方でした。いろいろな場面で多くの励ましやアドバイスをいただきましたし、私の経験や行動に関心や気遣いを持って質問してくれるなど心に掛けてくれたり、ご自分のこともかなり詳しく話してくれたりしました。奈良信さんと向き合っているといつも見守られている気がして安心して頼れる実感が湧いて来ました。多くの人が集まる会合で私の存在に気付くと遠くからでも「大谷君！」といつも声を掛けてくれましたので、奈良信さんもそれなりに私に親近感を持ってくれていたと感じています。

私が奈良信さんと出会ったのは52年前のことです。私が大学に入って東京YMCA山手ランチの山手学舎に入舎しましたが、奈良信さんは山手学舎運営委員をされておりました。その当時、学舎の玄関はYMCAと共有していて、物理的に一体化しておりましたし、山手Yが今よりこじんまりとしていて、諸活動全体が家庭的な雰囲気のもとまりがあつて、学舎もYMCAと深く繋がっていたので、山手Yの全体行事には舎生も参加していました。また、学舎行事には運営委員の方たちに案内を出していましたが、奈良信さんは学舎への思い入れもあつて必ず参加してくれました。それで、入舎当初はまだ個人として会っていたわけではありませんが、奈良信さんが山手Yに頻繁に出入りされていたので、月2～3回は出会っていたような気がします。私が舎長(寮長のこと)になると、学舎内で起きた問題について相談に乗ってもらったり、学舎運営委員であったので学舎の生活状況について質問されたり、奈良信さんと相対してお話する機会ができ、その頃から私を個人として認識していただけるようになりました。

奈良信さん自身、学生時代を山手学舎と同じような信愛学舎で過ごされた経験をお持ちであったことと、若い世代を育てる使命感をお持ちであったことから、常に私たち学生と真摯に向き合っており、何事も私たちの立場に立って考えてくれました。自治寮を自負する私たちは、時として管理者の立場であるYMCA当局に不満を感じたこともありますが、そんな時、奈良信さんはいつも私たちの考えをよく聞き、それを尊重する形で解決策を提示してくれました。たとえば1971年に山手YMCAの建物を木造から鉄筋に建て替える時、YMCAから示された学舎の設計図は、従来の学舎生活を続けることができない形だったので、私たち舎生は大いに不満を感じ、YMCA当局と対立的な状況になりました。その時、奈良信さんは舎生の意向を反映した形の設計変更を提示してくれたのをよく覚えております。

このように、学舎生活延いては学生生活が奈良信さんの見守りのうちに過ごすことができたという実感が私にはあります。そして、私は大学卒業後もYMCAとの関係が切れなかったものですから、奈良信さんと接する機会も失われず、お会いするとお互いの近況を親しく長時間に亘ってお話するこ

とが度々ありました。また相談に乗ってもらうこともありましたが、奈良信さんは面倒がらずに時間を取ってくれて懇切丁寧に応じてくれました。

相談に伺った中でも一番印象に残っているのは、東京YMCAが財政難に陥った時のことです。財政立て直しのために神田本館の売却に伴って事業の山手Yへの移転と事業全般の見直しが行われ、玉突き状態で山手学舎の廃止が決定されました。この時現役舎生はもちろんのことOB有志も学舎存続に立ち上がりました。学舎の存在意義を訴えるために、山手学舎創設の事情を詳しく知りたくて私は奈良さんにお話を伺うことにしました。その時奈良さんは脳梗塞を患った後で一人で歩けはしましたが不自由なお体にもかかわらず、1度2度ではなく何度も会ってくれて詳しくお話を伺うことができました。米国YMCAの有志が学生寮を立てるために資金を出し、それで高田馬場に土地と建物を確保して山手学舎と山手Yができたのだから、山手学舎の廃止というのは本末転倒であると奈良さんは私を励ましてくれました。この時、奈良信さんは山手学舎のことを思ってくれていると同時に私自身もまだ奈良信さんに見守られていることを実感しました。

こうした学生時代からの関係で、私は勝手に奈良信さんを父親のような方と感じております。私がワイズに入るのを決めたのも奈良信さんの一言です。山手学舎にいましたからワイズの存在はもちろん知っていましたが、山手クラブに招かれたり学生の時に話を頼まれたりしたことがありましたが、ワイズが何たるものかは全然分かりませんでした。30年前サンライズの立ち上げの時声を掛けられました。分からないものに参加するのは正直抵抗がありました。そんな時、「大谷君やってみろよ。いつでも相談に乗ってやる。」という奈良信さんの一言でわけも分からずワイズメンになって今日に至っています。

11月21日のご葬儀に参列させていただきました。奈良信さんと触れ合った場面のコマがいくつも頭に浮かんで来て、山手学舎をそして私を見守ってくれたことを改めて実感しました。そして、奈良信さんご自身の口から聞いた信愛学舎の生活やその後のYMCAでの活動に思いを馳せました。奈良信さんは多くの若者にYMCAの精神を体に染み込ませることを使命として、若者と真摯な交わりを持つ生涯を送られたことを私は目の当たりにしてきました。奈良信さんの遺影を見つめ、君たちもこの使命を受け継いで若者に接してくれよと励まされて奮い立つ気がしました。

西条便り

今月の京都プリンスクラブ

山中湖センターだより

YMCA News

それぞれ今月は休載します。

航空自衛隊美保基地見学

江原修一

11月上旬に境港の酒蔵（千代むすび酒造）で、毎年恒例の落語の会が有り、東京から6人で朝6時の飛行機に乗り参加しました。蔵元の配慮で



美保基地の見学に行きました。この基地は米子空港と滑走路を共用している、航空輸送機部隊の駐留基地です。隊員は900名で、人と物資の輸送が主たる仕事です。戦国時代の輻重部隊です。正門から基地内を自衛隊のバスで移動し、国産最新鋭輸送機「C2」の見学をしました。後部のハッチが空いて其処から機内に入りました。内部は大型ダンプが3~4台は入る広さです、航続距離は12t搭載時6,500km、人員は120名収容と聞きました。20人程の見学者でしたが、輸送機内部の説明を受けて、全員コクピットにも座らせて頂きました。男性は皆目が輝き子供の顔に戻っていました。



その後パラシュート部隊の落下訓練のシュミレーションが有りました。上空の設定で誘導員がハッチを開けて、落下傘部隊

を次々降下させ、終了後ハッチを閉めるまでの訓練ですが、隊員の動きが非常に良いと思いました。とても緊張感があり久々に感動しました。基地のトップを基地司令と云います。美保基地司令の名刺には1等空佐と書いて有りました。裏は英語でColonel、その下にCommanderと有りました。辞書を調べると一般的には「大佐」、「司令官」となります。「1等空佐」よりも「空軍大佐」の方が解りやすいし、威厳が有る様に思います。その後管制塔を見学して終了致しました。説明・案内の隊員の一手一投足に流石に国防を担う自衛官だと感じました。

その晩に酒蔵で落語の会が有り、司令及び隊員数名も出席されたので親しく話を致しました。幹部隊員は2年で移動するそうです。ご酒も入り良い気分になり彼らに、愛国心と自衛官に関する質問をしたところ興味深い返答が多々有りましたが、諸般の事情で本紙には記載致しません。マル秘と致します。

酒蔵の落語の会で思わぬ経験を致しました。ちょうど松葉カニの解禁直後でした。やはり松葉カニはカニの王様だと再認識致しました。「あー旨かった」。

2018年12月1日発行 東日本区理事 宮内友弥

メンバーの皆さまには、会長よりメール添付で配信します。

ご近所のクラブでは

交流委員会

あずさ部では部内交流に力を入れております。隣のクラブをのぞいて見ることでワイズの輪が広がり、ワイズの和も深まります。

- ◇12月 1日(土)17:00～ 富士五湖クラブ / 山中合同
- ◇12月 8日(日)13:00～ 東京武蔵野多摩クラブ
- ◇12月 8日(日)時間不詳 甲府21クラブ / クリスマス
- ◇12月11日(火)18:30～ 東京たんぼぼクラブ
- ◇12月11日(火)18:45～ 甲府クラブ / クリスマス
- ◆12月15日(土)13:00～ 松本クラブ30周年記念例会
- ◆12月15日(土)15:30～ 松本クラブ第20回アジア賞
- ◇12月19日(水)18:30～ 長野クラブ
- ◇12月20日(木)18:45～ 東京西クラブ / クリスマス
- ◇12月22日(土)17:00～ 東京八王子クラブ / クリスマス
- ◇12月26日(水)18:30～ 東京山手クラブ / クリスマス
- ◆ 1月 5日(土)12:30～ 在京ワイズ合同新年会
八王子 京王プラザホテル
- ◆ 1月 8日(火)18:30～ 東京たんぼぼ・東京・東京むかで
合同例会 / 東陽町センター
- ◆ 1月11日(金)～12日(土) 富士五湖クラブ / 新年例会

強調月間：EMC-MC

会員増強委員会

MCとは、Membership & Conservation つまり、会員増強と維持啓発を指します。会員増強はワイズの永遠の課題であり、クラブを維持するも発展させるも、一に会員増強にかかっています。新入会員を誘うには、自分のクラブライフが楽しくなければ誘えません。そのためには常に会員意識を啓発し、高揚を図り、充実した楽しいクラブライフと奉仕活動を心がけ、友人・知人をクラブに誘ってみようかという気持ちを醸成することです。一人でも多くの新入会員を獲得するために。クラブ活動を行うに当たって、数が全てではありませんが、会員数の多少は重要なファクターの一つであることは間違いありません。活動の幅が広がり、奉仕・事業活動にも余裕を持って取り組みます。メンバーそれぞれが会員意識を高めて、新会員の獲得を念頭において活動しましょう。

東京サンライズは、間もなく設立30周年を迎えます。「数は力なり」ということは真実です。少数精鋭、仲良しクラブもそれはそれで良いものですが、数の力も捨てがたい所です。ぜひ、30周年にちなみメンバーを30人に増やしましょう。

2019 第22回東日本区大会

実行委員会

第22回東日本区大会は、2019年6月1日(土)～2日(日)に代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで、30周年を記念してサンライズのホストで開催されます。準備も着々と進んでいます。ぜひ皆さまのご協力をお願いします。

東京サンライズ30周年記念祝会

東京サンライズ30周年実行委員会

☆30周年記念祝会

日時 2019年3月23日(土) 12:00～15:00

会場 プラスリー東洋(日本橋)

登録費 8,000円

☆IBC / DBC交流会

3月23日 18:00～21:00 (予定)

2019 在京ワイズ合同新年会

キャビネット

日時 2019年1月5日(土) 12:30～15:30

会場 京王プラザ八王子

登録費 5,000円

第1部 礼拝

第2部 アトラクション「大人の紙芝居」

第3部 食事 懇親会

◇ワイズ仲間と新年のご挨拶をしましょう。

出席申し込みは、12月14日までに、菰淵ドライバーまで。

第28回アジア太平洋地域大会 in 仙台

交流委員会

日時 2019年7月19日(金)～21日(日)

会場 仙台国際センター

登録費 36,000円

◇ワイズメンズクラブが国際組織であることを実感できる絶好のチャンスです。参加して新しい友人を見つけましょう。

会費納入のお願い

今年度第1期の会費の納入期限は8月末日ですので、お忘れの方はお早めに納入をお願い致します。

●一括納入 一括全納(8月末まで) 48,000円

●二回分割納入 各回毎に(8,1月末まで) 24,000円

※本年度も災害時積立て金として、初回納入時のみ2,000円を追加して納めてください。年額合計50,000円になります。

○三井住友銀行 恵比寿支店 普通口座：6762355

○口座名 東京サンライズワイズメンズクラブ

編集後記

11月18日東京町田スマイリングクラブの設立総会に出席しました。東日本区では東京多摩みなみに続いて2年ぶりの出来事です。5人から作れるようになったのもっとたくさんあればいいですね。(Non.O)